

去る6月5日から7月24日の毎週木曜日の午後7時から午後8時30分までの日程で、隣国、大韓民国について学ぶ国際理解講座"韓国を知ろう"を開催しました。

熊本県貿易協会事務局長として現在活躍されている、松平 剛さんを講師にお迎えして、朝鮮半島の概要や日本との関わりについて、日韓両国の歴史をはじめ韓国の衣食住及び韓国料理の調理実習、そしてハングル基礎講座を通して学びました。



## 受講生の感想

# 「韓国を知ろう」の講座を終わって…



田中秀男さん美恵子さんファミリー  
ホストファミリーボランティア活動を始めて1年。最初に受け入れた韓国の学生の影響で、現在韓国に夢中。

「韓国という国にどんなイメージがありますか？」と先生に問われ、キムチ、ワールドカップサッカー、エステ、焼肉、とさまざまな答えが受講者から聞こえてきました。今日は、6月から7月まで開講される熊本市国際交流振興事業団の国際理解講座「韓国を知ろう」の第一日目です。周りを見れば高校生から70才まで、様々な年齢の受講者20名ほどの顔がありました。そう、私たち夫婦もこの時は、その程度のことしか頭に浮かびませんでした。しかし、この講座で毎回教えて頂く内容は、日韓の歴史、習慣、言葉など、日本に一番近い国なのに知らないことばかりで驚きの連続でした。先生の楽しい話の中にある、いろいろな意味を理解しながら受講を重ねていき、とても実りある時間を過ごす事ができました。

なぜ、私達夫婦がこんなに「韓国」と言う国に魅力を感じてしまったのか・・・それは去年の夏に、国際交流振興事業団の依頼で初めてのホームステイを受け入れてからでした。何もわからないままソウルの学生を2人預かる、我が家の異文化交流の始まりでした。我が子と変わらない年齢のソウルの学生は日本の歴史、日本の習慣などよく勉強していました。また、やっと覚え始めたカタコトの日本語でいろいろなことを知ろうと努力を惜しみません。初めてきた日本、緊張した気持ちの中で必死に私達に問いかけてきます。前向きな姿勢がけなげで、とても親しみを感じた瞬間でした。そして、今回講座を受講しながら、7月の初めに4度目の韓国の学生のホームステイを受け入れる機会を頂きました。どの学生もいつも良い子ばかりですが、今回は受け入れる我家の気持ちが今までとは違いました。もっと、もっと韓国の事を知りたい私達家族と日本の事を知りたい学生達、毎晩遅くまで話をしました。お互い意味がわからなければ辞書を引きながら・・・とても貴重で楽しい時間を過ごすことができました。

今年の夏の終わりに、この講座の締め括りとして、韓国への2泊3日のホームステイツアーが企画され、もちろん夫婦での参加を決めました。二度目の韓国ですが、今回は前回の旅行とは気持ちがまったく違います。ホームステイで出会ったソウルの子供達との再会、今回の講座で学んだことの確認・・・もう、気持ちはワクワクで、はちきれんばかりです。「異文化交流」、この感動は体験しなければとても感じる事ができないものです。これからも、「韓国」という国を深く知りたい、楽しみたい、その気持ちだけで、今日も眠い目をこすりながらハングルの勉強に悪戦苦闘する夜の始まりです。



韓国の学生とのホームステイ交流の様子